

[インデックスに戻る](#)

1 1. 指数関数と対数関数

1 1-1. 指数関数

1 1-1-1. 指数の拡張

1 1-1-1-2. 累乗根

$n$  を正の整数とする。実数  $a$  に対して、 $n$  乗すると  $a$  になる数を、 $a$  の  $n$  乗根という。 $n$  乗根は、普通、実数の範囲で考える。

(例)

$$2^4 = 16, (-2)^4 = 16$$

であるから、 $2$  と  $-2$  は  $16$  の  $4$  乗根である。一方で、実数の  $4$  乗は必ず正になるから、 $-16$  の  $4$  乗根は存在しない。また、 $-2$  は  $-8$  の  $3$  乗根である。

$n$  乗根をまとめて、累乗根という。

$n$  は正の整数とし、 $a$  は正の実数とする。 $a$  の  $n$  乗根のうち正のものは、必ずちょうど  $1$  個存在する。これを記号で

$$\sqrt[n]{a}$$

と書く。

(注)

$\sqrt[2]{a} = \sqrt{a}$  は、これまでどおり  $\sqrt{a}$  と書くことが多い。

(例)

$$\sqrt[4]{16} = 2$$

(注)

同じ記号で、負の数の累乗根を表すこともあるが、注意が必要である。

$a > 0$  のとき、 $\sqrt[n]{a} > 0$  であり、 $a < 0$  のときは  $\sqrt[n]{a}$  とは書かない (実数の範囲には存在しない)。

$a > 0$  のとき、 $\sqrt[3]{a} > 0$  であり、 $a < 0$  のとき  $\sqrt[3]{a} < 0$  である。すなわち、この場合の定義は、「 $a$  の 3 乗根を (符号によらず)  $\sqrt[3]{a}$  で表す」ということである。

(例)

$\sqrt[4]{16} = 2$  である。 $\sqrt[4]{-16}$  とは書かない (存在しない)。16 の 4 乗根は  $\sqrt[4]{16} = 2$  と  $-\sqrt[4]{16} = -2$  である。

$\sqrt[3]{8} = 2$  であり、 $\sqrt[3]{-8} = -2$  である。 $\sqrt[3]{-8} < 0$  であることに注意。8 の 3 乗根は  $\sqrt[3]{8} = 2$  のみである。 $-8$  の 3 乗根は  $\sqrt[3]{-8} = -2$  のみである。

誤解を避けるために、正の数の累乗根に限定する場合が多い。

正の数  $a$  について、 $\sqrt[n]{a}$  の定義より次のことがいえる。

$\sqrt[n]{a}$  の性質 1

$a > 0$  とし、 $n$  は正の整数であるとする。

$$\sqrt[n]{a} > 0, \quad (\sqrt[n]{a})^n = a, \quad \sqrt[n]{a^n} = a$$

さらに  $\sqrt[n]{a}$  について、次のことが成り立つ。

$\sqrt[n]{a}$  の性質 2

$a > 0, b > 0$  とし、 $m, n$  は正の整数であるとする。

$$\sqrt[n]{a}\sqrt[n]{b} = \sqrt[n]{ab}$$

$$\frac{\sqrt[n]{a}}{\sqrt[n]{b}} = \sqrt[n]{\frac{a}{b}}$$

$$(\sqrt[n]{a})^m = \sqrt[n]{a^m}$$

$$\sqrt[m]{\sqrt[n]{a}} = \sqrt[mn]{a}$$

(証明)

定義より

$$\left[ x^n = a \text{ かつ } x > 0 \Rightarrow x = \sqrt[n]{a} \right]$$

が成り立つ。

$\sqrt[n]{a}\sqrt[n]{b} = \sqrt[n]{ab}$  を示す。  $x = \sqrt[n]{a}\sqrt[n]{b}$  とすると、 $\sqrt[n]{a} > 0$ 、 $\sqrt[n]{b} > 0$  より  $x > 0$  であり

$$x^n = (\sqrt[n]{a}\sqrt[n]{b})^n = (\sqrt[n]{a})^n (\sqrt[n]{b})^n = ab$$

よって

$$x = \sqrt[n]{ab}$$

すなわち

$$\sqrt[n]{a}\sqrt[n]{b} = \sqrt[n]{ab}$$

$\frac{\sqrt[n]{a}}{\sqrt[n]{b}} = \sqrt[n]{\frac{a}{b}}$  を示す。  $x = \frac{\sqrt[n]{a}}{\sqrt[n]{b}}$  とすると、 $x > 0$  であり

$$x^n = \left( \frac{\sqrt[n]{a}}{\sqrt[n]{b}} \right)^n = \frac{(\sqrt[n]{a})^n}{(\sqrt[n]{b})^n} = \frac{a}{b}$$

よって

$$x = \sqrt[n]{\frac{a}{b}}$$

すなわち

$$\frac{\sqrt[n]{a}}{\sqrt[n]{b}} = \sqrt[n]{\frac{a}{b}}$$

$(\sqrt[n]{a})^m = \sqrt[n]{a^m}$  を示す。  $x = (\sqrt[n]{a})^m$  とすると、 $x > 0$  であり、

$$x^n = \left\{ (\sqrt[n]{a})^m \right\}^n = (\sqrt[n]{a})^{mn} = \left\{ (\sqrt[n]{a})^n \right\}^m = a^m$$

よって

$$x = \sqrt[n]{a^m}$$

すなわち

$$(\sqrt[n]{a})^m = \sqrt[n]{a^m}$$

$\sqrt[m]{\sqrt[n]{a}} = \sqrt[mn]{a}$  を示す。  $x = \sqrt[m]{\sqrt[n]{a}}$  とすると、  $x > 0$  であり

$$x^{mn} = \left(\sqrt[m]{\sqrt[n]{a}}\right)^{mn} = \left\{\left(\sqrt[m]{\sqrt[n]{a}}\right)^m\right\}^n = \left(\sqrt[n]{a}\right)^n = a$$

よって

$$x = \sqrt[mn]{a}$$

すなわち

$$\sqrt[m]{\sqrt[n]{a}} = \sqrt[mn]{a}$$

(例)

$$\sqrt[3]{2}\sqrt[3]{4} = \sqrt[3]{2 \cdot 4} = \sqrt[3]{8} = \sqrt[3]{2^3} = 2$$

$$\frac{\sqrt[3]{6}}{\sqrt[3]{2}} = \sqrt[3]{\frac{6}{2}} = \sqrt[3]{3}$$

$$\left(\sqrt[4]{2}\right)^3 = \sqrt[4]{2^3} = \sqrt[4]{8}$$

$$\sqrt[5]{\sqrt[3]{2}} = \sqrt[15]{2}$$

[インデックスに戻る](#)